

【給食協会賞】みんなから笑顔がこぼれでた思い出
の給食

三河安城小学校 神島 由依

私が小学校の給食で一番好きでみんなの笑顔を引き出したわかれごはんが思い出に残っています。一年生のころ私は好きかきらいかがけっこうはげしかったです。私はその日、当ぜんのように残そうかなと思ってました。でも、みんながわかれごはんが出るのかいてあるメニュー表をみてみんなは、とてもうれしそうな顔をしていたので私は残すことをやめてチャレンジをしてみようと思いました。そこで一口パクツと食べました。私は、わかれのこをみそしるにいれるとおいしいものだと思っていたので、ごはんとかめは合わないと思いました。でも、なぜだかごはんとかめがどちらとも一番おいしく感じました。ごはんの味がこいわけでもなく、うすいわけでもなく、わかれの味もこいわけでもなく、うすいわけでもなかったのです。一年生のころの私は思わず、

「予想していた味と全然ちがう。むしろ無茶くちやおいしい。」

とつぶやきました。そして、とてもおいしかったのでお母さんにたのんでつくってもらいました。それで、わくわくしながらそのつくってもらったわかれごはんをあのとくと同じようにパクツと食べました。しかし、なぜかそのわかれごはんは、わかれの味が少しこいかなと思えました。気のせいかなと思いい今度は少しまぜてから食べました。でもやっぱ

味がこいなと感じました。そして、わかれごはんの日が来ました。家でつくってもらった味を思い出しながらわかれごはんを食べました。そして、家でつくってもらったものとは比べ物にならないほどおいしいと思いました。

「なんで給食のわかれごはんはおいしいのに家のわかれごはんはそんなにおいしくないのかな。」と六年の夏休みするときふと、なんだろうと思ったので親に聞いてみました。そしたら、

「友達といっしょに食べるからじゃない。」

と言われました。たしかに、一年生のころは給食の時間、話すことが禁止になっていたけれど、昼放課に友達と

「おいしかったよね。」

と話すのが私の中では、給食のおしゃべりだと感じていたので親が言っていることもあつてるなと思えました。そんな、みんなから笑顔がこぼれたり、おいしかった話をした思い出のわかれごはんが私は大好きです。